

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道49号 <small>いなわしろ</small> 猪苗代拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局	
起終点	自：福島県耶麻郡猪苗代町大字壺楊字南浜 至：福島県耶麻郡猪苗代町大字長田字大堰	延長	7.3 km			
事業概要						
<p>一般国道49号は、福島県いわき市と新潟県新潟市を結び、南東北地域の広域交流の促進及び沿線市町村の連携強化を図る主要幹線道路である。</p> <p>猪苗代拡幅は、猪苗代町内の国道49号の交通安全の確保及び、沿道環境の改善等を目的とした事業である。</p>						
S63年度事業化		都市計画決定未実施		H元年度用地着手		
H3年度工事着手						
全体事業費	129億円	事業進捗率	88%	供用済延長	2.9 km	
計画交通量	9,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.2	総費用 (残事業)/ (事業全体)	27億円/198億円	総便益 (残事業)/ (事業全体)	131億円/246億円
	(残事業)	4.8	事業費：14億円/176億円 維持管理費：13億円/22億円	走行時間短縮便益：106億円/198億円 走行経費減少便益：19億円/39億円 交通事故減少便益：5.7億円/8.8億円	基準年：平成24年	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施						
<p>【全体事業】 交通量変動：B/C=1.04~1.5(交通量 ±10%) 【残事業】 B/C=4.0~6.0(交通量 ±10%)</p> <p>事業費変動：B/C=1.2~1.3(事業費 ±10%) B/C=4.6~5.1(事業費 ±10%)</p> <p>事業期間変動：B/C=1.2~1.3(事業期間 ±1年) B/C=4.7~4.9(事業期間 ±1年)</p>						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの構築 (現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する) ・災害への備え (緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する) <p style="text-align: right;">他13項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
○福島県知事の意見						
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続については、異議ありません。 なお、東日本大震災からの復興を支援するため、早期の事業効果の発現を図るとともに、更なるコスト縮減など、総事業費の抑制に努めて下さい。 						
○以下の団体等から、猪苗代拡幅の整備促進について要望あり。						
<ul style="list-style-type: none"> ・会津総合開発協議会 ・会津地区道路整備促進期成同盟会 ・会津方部商工観光団体協議会 						
事業評価監視委員会の意見						
対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
・平成21年度に事業評価監視委員会において、計画交通量の見直しにより、4車線計画から2車線計画へ事業計画の見直しを行った						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
・事業進捗率88%(うち用地進捗率89%)						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
・事業の進捗に係る問題はない。						
施設の構造や工法の変更等						
・他事業との発生土利用調整及び再生資材(再生砕石、再生アスファルト合材等)の活用により、コスト縮減を図る。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。